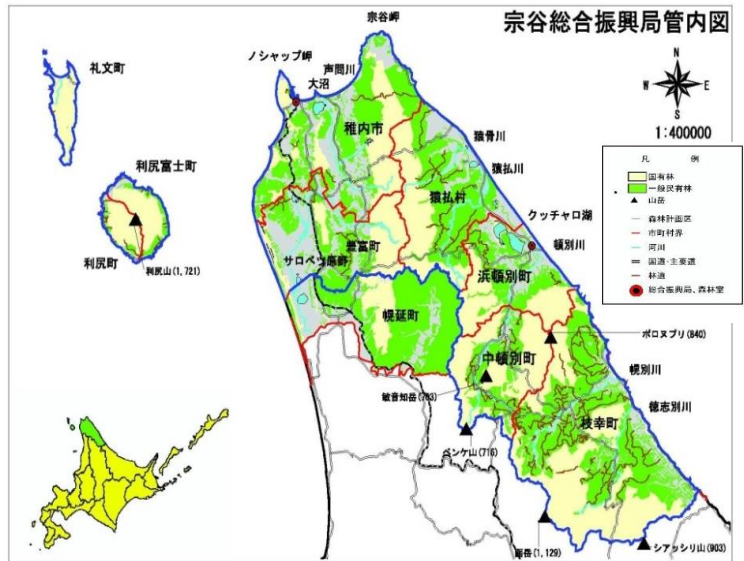


林業

■ 宗谷総合振興局管内の森林分布図



森林は、水資源の涵養や山地災害の防止などの公益的機能を発揮しているとともに、林業を通じて地域の資源である木材の供給を担っています。

管内の森林面積は約32万6千haで、管内の約7割が森林で占められていますが、過去には伐採や林野火災などにより多くの森林が失われ、宗谷の厳しい気象条件から森林再生が難しく、現在もササ原となっている無立木地も少なくありません。森林蓄積は、約3千8百万 m^3 で年々増加しており、特に高度成長期に植えたトドマツなどの人工林が順次成熟期に入りつつあります。

こうした状況から、無立木地への植栽や人工林の間伐、成熟した人工林の次世代更新などの森林整備が進められています。

一方、木材価格が長期間低迷している中で林業の活性化を図るためには、林業の低コスト化が大きな課題となっており、林道等林内路網の整備や高性能林業機械の導入などにより、コストの低減を図っています。

また、道などでは、国土の保全など森林の公益的機能の発揮を図るため、治山事業による山地災害の予防・復旧や保安林の整備などを行っています。

このほか道では、地域の子供や大人が森や木に親しみ豊かな感性を育む「木育」活動の一環として、地域住民とともに、苗木づくりから植栽、保育までの一連の森づくり作業を行うなどの取組を行っています。

■ 森林資源等

区分		単位	宗谷管内	全道	全道比	備考
森林面積	国有林	ha	169,087	3,062,064	5.5%	
	道有林		-	608,032	0.0%	
	一般民有林		156,964	1,868,374	8.4%	
	計		326,051	5,538,470	5.9%	
森林蓄積	国有林	千 m^3	20,224	424,153	4.8%	ha当たり蓄積 管内115 m^3 /ha 全道143 m^3 /ha
	道有林		-	96,782	0.0%	
	一般民有林		17,413	272,051	6.4%	
	計		37,637	792,986	4.7%	
林内道路	国有林	km	1,080	20,658	5.2%	林内道路には、自動車道、公道を含む
	道有林		-	4,162	0.0%	
	一般民有林		1,535	24,472	6.3%	
	計		2,615	49,292	5.3%	
伐採量		千 m^3	160	5,162	3.1%	

(平成28年度末現在)

木材有効利用の取組

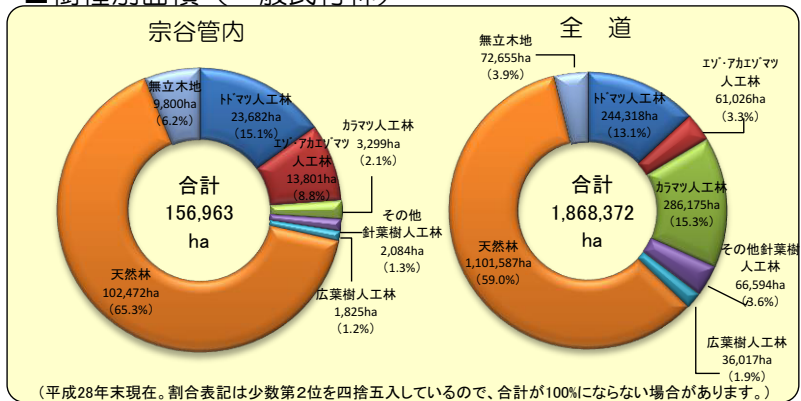
地域の木材を地域で有効利用する「地材地消」は、輸送距離の短縮に伴う二酸化炭素排出量の削減や、地域産業の活性化など、環境と経済の両面で大きなメリットがあります。

このため、道では、地域の木材を利用したモデル的な木造公共施設等の整備を推進するとともに、地域の森林整備と木質資源の利用拡大を図る会議等の開催などにより、地域の幅広い関係者による意見交換や連携した取組の検討を進めています。



公共施設の木造化
(礼文町ふれあいコミュニティセンター)

■ 樹種別面積（一般民有林）



(平成28年末現在。割合表記は少数第2位を四捨五入しているので、合計が100%にならない場合があります。)



無立木地への植栽



治山事業による急斜面の保全(礼文町)